

デジタルコンテンツ流通技術

中川路哲男* 石塚裕一**
宮崎一哉**
中嶋春光**

要 旨

ソフトウェアや出版物などのデジタルコンテンツのインターネット上での流通・販売は、その流通コストの安さとカバーする範囲の広さから、エレクトロニックコマース(EC)の効果を最大限に引き出す形態として期待が高い。

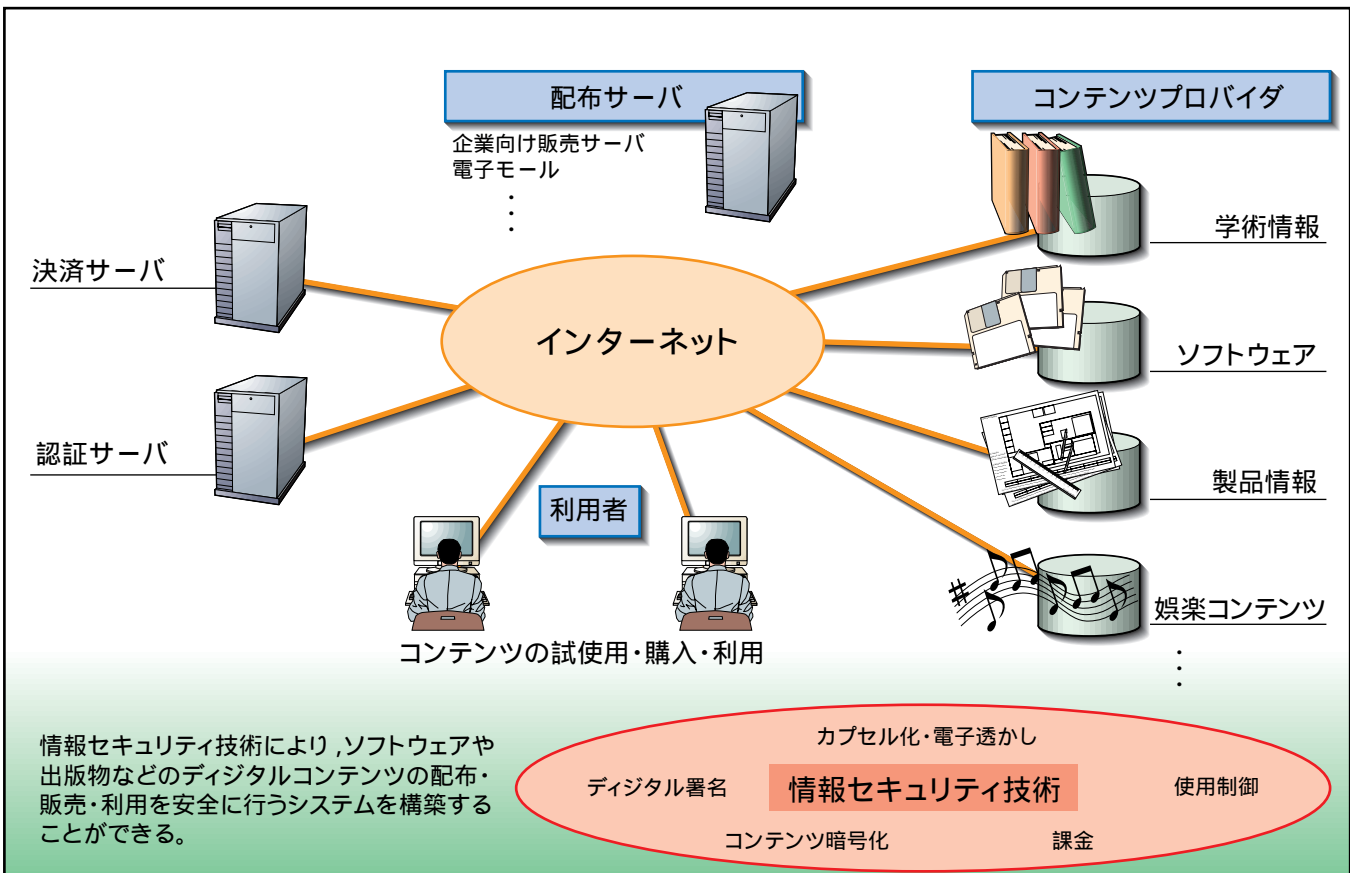
一方、デジタルコンテンツは複製や改ざんが容易であるため、不正利用の防止や適切な課金を行うことなどが困難であり、その普及を阻む課題となっていた。ここでは、デジタルコンテンツ流通実現のための技術課題を紹介した上で、その核となる要素技術である“電子透かし”と、それをベースとしたセキュアコンテンツ配布システムである“DIGITEX (仮称)”について述べる。

電子透かしは、著作権情報をデジタルデータに判別・

除去不能な形式で埋め込む技術である。周波数変換に基づく方式により、従来よりも計算量を削減し、かつ画質を劣化させることなくデータを埋め込むことができる。

DIGITEXは、上記電子透かしを含む情報セキュリティ技術により、デジタルコンテンツの著作権管理と課金管理を実現したセキュアコンテンツ配布システムである。コンテンツの盗聴や改ざん、不正コピーなどの不正利用を防ぐ機能を持っている。

今後は、各種応用システム(ソフトウェア販売、製品情報提供、学術情報提供、娯楽コンテンツ販売など)へ適用していき、その有効性を検証していく。



セキュアコンテンツ配布システム“ DIGITEX ”

DIGITEXの著作権管理と課金管理により、コンテンツの盗聴や改ざん、不正コピーなどの不正利用を防いで、安全なコンテンツ流通・販売を実現することができる。